

地方創生推進で連携

岐阜市、岐阜信金と協定



岐阜市と岐阜信用金庫は26日、地方創生の

推進に関する連携協定を結んだ。同金庫の店舗網を活用して市の魅力をPRするほか、創業や商品の販路拡大支援を通じた地域経済の活性化にも連携して取り組む。

市が同様の協定を金

協定を締結し握手する細江茂光市長（右から3人目）と高橋征利理事長（同4人目）＝岐阜市役所

融機関と締結するのは2例目。同金庫は、市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に関わり、金融を含めたさまざまな分野で相互に連携し、今後、地方創生に向けた各種事業を展開する。

具体的には▽結婚、出産、子育ての切れ目ない支援推進▽産業振興と安定した雇用創出▽創業支援など地域経済活性化▽市の魅力発信と定住推進――などで連携。今後、創業や販路拡大に向けたクラウドファンディング活用支援のほか、全国信金ネットワークを活用した誘客などに取り組むことを検討している。

締結式で細江茂光市長は「市の99%を占め

る中小企業を活性化することを大切。中小企業に明るい岐阜信用金庫とともに元気にしたい」と述べた。高橋征利理事長は「市に本店を置く金融機関として当然の使命として取り組む」と語った。同金庫は愛知県小牧市とも同様の協定を結んだ。（高橋友基）